

政策 03 快適な生活を支えるまちづくり

施策 03 安全で安定した水の供給

あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
安全で安定した水道水を使うことができます。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値




指標	安全な水道水が供給されている割合(日数ベース) (%) 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対 基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		100	100	100	100	☀ (向上)
評価	水質についての日常及び定期検査において基準値を超える異常値がなく、安全な水道水を供給することができた					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

指標	水道水供給事故回数(回) 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対 基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		0	0	0	0	☀ (向上)
評価	広範囲(100世帯以上)において水道水の供給に支障が出るような大規模な事故はなかった。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)




基本事業の成果状況と評価

基本事業01 安心な水の供給による信頼される水道（安全）




グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	給水栓水質検査採水箇所数（箇所） 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		4		4	5	 (横ばい)
評価	(状況) (原因) 令和5年からの採水箇所1か所追加に向けて検討を行うが、それまでは現状の4か所において継続して検査を行う。 令和2年度より市水安全計画に合わせ、毎日検査において(に おい)の項目を追加した。					対前年度
						 (横ばい) 目標達成度  (高)




基本事業01 安心な水の供給による信頼される水道（安全）

指標	直結給水比率（％） 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
				76.5	77.2	 (向上)
評価	(状況) (原因) 貯水槽水道は徐々に減少しており、実績値においても昨年より75.9%から76.5%へ0.6%向上した。 令和3年度から5階以上の中高層建物について増圧ポンプによる直結増圧給水方式を可能とする基準を、令和2年度に策定する。					対前年度
						 (向上) 目標達成度  (高)

基本事業02 災害に負けないたくましい水道（強靱）

指標	配水管の老朽化率（％） 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		21.5	21.5	22.1	33.5	 (低下)
評価	成果指標である老朽化率（配水管総延長に対する布設後40年以上経過した配水管の割合）は22.1%で、当初の目標設定時の年度計画値の23.6%より1.5ポイント低く抑えることができた。今後も老朽化した塩化ビニル管の更新事業を実施し、老朽化率の上昇を減少させるよう努める。					対前年度
						 (低下) 目標達成度  (達成)

基本事業02 災害に負けないたくましい水道（強靱）

指標	幹線管路の耐震化率（％） 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		30.3	30.3	32.6	40.4	 (向上)
評価	平成23年度に策定した「幹線水道管耐震化基本計画」に基づく幹線管路の耐震化事業と北原山区画整理事業に伴う耐震化により、成果指標である幹線管路の耐震化率は32.6%となり、当初の目標設定時の年度計画値31.5%を上回った。					対前年度
						 (向上) 目標達成度  (高)

基本事業02 災害に負けないたくましい水道（強靱）

グラフの凡例 基準値及び目標値、実績値

指標	有収率（％） 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		95.2	95.2	94.0	96	☂ (低下)
評価	成果指標である有収率（給水量に対する使用水量の割合）は、93.99%で平成30年度より1.2ポイント低下した。平成21年度の97.57%をピークに低下傾向にあるため、今後も老朽管の更新事業や配水施設の適正な維持管理により、有収率の向上に努める。					対前年度
						☂ (低下)
						目標達成度
						☐ (高)

基本事業02 災害に負けないたくましい水道（強靱）

指標	応急給水拠点箇所数（拠点） 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		13	13	15	15	☀ (向上)
評価	令和元年度に旭小学校及び瑞鳳小学校において実施した工事により、計画どおり応急給水拠点全ての整備が完了した。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 いつまでも続く安定した水道（持続）

指標	総収支比率（％） 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		121.0	121.0	121.0	100以上	(---)
評価	(状況) 増減はしていない。 (原因)					対前年度
						(---)
						目標達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 いつまでも続く安定した水道（持続）

指標	企業債残高対給水収益比率（％） 【上水道課】	基準値	実績値	実績値	目標値	対基準値
		(H30)	(H30)	(R元)	(R05)	
		39.5	-	30.2	300以下	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より下がっている。 (原因) 新規の起債がなく償還し続けていることから企業債の残高が減少しているため数値も下がっている。					対前年度
						☀ (向上)
						目標達成度
						(---)